

科目区分	専門分野Ⅱ	授業科目	母性看護学実習			
講師名	実習担当者	開講年次	2 年次第 2 学期～3 年次第 2 学期			
単位数（時間）	2 単位（90 時間）					
目的：1. マタニティサイクルにある対象を理解し、妊婦・産婦・褥婦・新生児に対する健康維持・促進・回復のための看護が実践できる基礎的能力を養う 目標：1. マタニティサイクルにある対象を理解し、正常な経過を促進するための援助の方法が理解できる 2. 新生児の生理的特徴を理解し、胎外生活適応への援助が理解できる 3. 母児の関係確立、新たな家族役割への適応を促す援助ができる 4. 生命の誕生に立ち会うことにより生命の尊厳、神秘性について考え、自己の母性観・父性観を深める * 正常な妊産褥婦で学べない場合はリスクのある妊産婦褥婦の異常の早期発見、予防、回復のための援助が理解できる						
授 業 内 容						
<table><tr><td>1. 妊娠期の看護 1) 対象の理解 (1) 妊娠による母体の変化 (2) 妊婦一般健康診査による母体の生理的変化の把握 (3) 正常からの逸脱または逸脱の可能性 (4) 妊娠経過に影響を及ぼす因子 (5) 母体の変化に応じたケアの現状 (6) 妊娠週数に応じた胎児及び付属物の状態 (7) 妊婦の心理・精神状態 (8) 妊婦の心理・精神状態に影響を及ぼす因子 2) 看護実践 (1) 妊婦の健康診査の見学・介助 (2) 妊婦の心理的な援助 (3) 早期に受診する必要がある症状 (4) 入院が必要な妊婦に対する援助 2. 分娩期の看護 1) 対象の理解 (1) 分娩の三要素と各期の経過 (2) 分娩第 1～3 期の正常な経過 (3) 分娩進行に影響を及ぼす母体・胎児因子 (4) 分娩第 4 期の正常な経過 (5) 胎児及び付属物の状態 (6) 胎児の健康状態に影響を及ぼす母体の健康状態</td><td>2) 看護実践 (1) 分娩第 1～3 期の援助 (2) 産婦の心理的援助 (3) 陣痛（産痛）緩和の援助 (4) 子宮内感染防止の援助 (5) 家族への援助 (6) 分娩直後の産婦の援助 (7) 緊急事態の対処 3. 産褥期の看護 1) 対象の理解 (1) 生理的变化に影響する因子 (2) 乳汁分泌経過 (3) 復古現象の経過 (4) 復古現象に影響を与える因子 (5) 褥婦の心理状態 (6) 褥婦の過程・社会環境から退院後の生活の把握 2) 看護実践 (1) 乳汁分泌促進の援助と指導 (2) 乳房・乳頭トラブルの援助 (3) 復古現象を促す援助 (4) 産褥期に起こしやすい感染症の予防への援助 4. 新生児の看護 1) 対象の理解 (1) 出生直後の児の生理的变化 (2) 新生児の胎外生活適応過程 (3) 新生児の栄養状態 (4) 新生児の胎外生活適応過程を阻害する因子 (5) 新生児に起こりやすい感染症の徴候</td><td>2) 看護実践 (1) 出生直後の新生児の看護の見学 (2) 出生直後の新生児の受け入れ準備 (3) 新生児の胎外生活適応の援助 (4) 新生児の診察と検査 5. 母児の関係確立、新たな家族役割への適応を促す援助 1) 妊娠・分娩・産褥による社会的変化 2) 母親役割獲得及び家族との役割調整 3) 退院後の母児への継続した支援 4) 社会資源の活用や諸制度の説明 6. 自己の母性観・父性観を深める 1) 妊娠期の看護実践 2) 分娩期の看護実践 3) 新生児の看護実践 4) 産褥期の看護実践 5) 母児の関係確立、家族役割適応の看護実践 上記 1)～5) を通して深める *、リスクのある妊産婦褥婦の異常の早期発見、予防、回復のための援助が理解できる。 1) 帝王切開術を受ける産婦・褥婦に対する援助 2) 妊娠糖尿病合併の妊産褥婦の援助 3) 妊娠高血圧症候群の妊産褥婦の援助 4) 切迫早流産の症状・治療に対する援助</td></tr></table>				1. 妊娠期の看護 1) 対象の理解 (1) 妊娠による母体の変化 (2) 妊婦一般健康診査による母体の生理的変化の把握 (3) 正常からの逸脱または逸脱の可能性 (4) 妊娠経過に影響を及ぼす因子 (5) 母体の変化に応じたケアの現状 (6) 妊娠週数に応じた胎児及び付属物の状態 (7) 妊婦の心理・精神状態 (8) 妊婦の心理・精神状態に影響を及ぼす因子 2) 看護実践 (1) 妊婦の健康診査の見学・介助 (2) 妊婦の心理的な援助 (3) 早期に受診する必要がある症状 (4) 入院が必要な妊婦に対する援助 2. 分娩期の看護 1) 対象の理解 (1) 分娩の三要素と各期の経過 (2) 分娩第 1～3 期の正常な経過 (3) 分娩進行に影響を及ぼす母体・胎児因子 (4) 分娩第 4 期の正常な経過 (5) 胎児及び付属物の状態 (6) 胎児の健康状態に影響を及ぼす母体の健康状態	2) 看護実践 (1) 分娩第 1～3 期の援助 (2) 産婦の心理的援助 (3) 陣痛（産痛）緩和の援助 (4) 子宮内感染防止の援助 (5) 家族への援助 (6) 分娩直後の産婦の援助 (7) 緊急事態の対処 3. 産褥期の看護 1) 対象の理解 (1) 生理的变化に影響する因子 (2) 乳汁分泌経過 (3) 復古現象の経過 (4) 復古現象に影響を与える因子 (5) 褥婦の心理状態 (6) 褥婦の過程・社会環境から退院後の生活の把握 2) 看護実践 (1) 乳汁分泌促進の援助と指導 (2) 乳房・乳頭トラブルの援助 (3) 復古現象を促す援助 (4) 産褥期に起こしやすい感染症の予防への援助 4. 新生児の看護 1) 対象の理解 (1) 出生直後の児の生理的变化 (2) 新生児の胎外生活適応過程 (3) 新生児の栄養状態 (4) 新生児の胎外生活適応過程を阻害する因子 (5) 新生児に起こりやすい感染症の徴候	2) 看護実践 (1) 出生直後の新生児の看護の見学 (2) 出生直後の新生児の受け入れ準備 (3) 新生児の胎外生活適応の援助 (4) 新生児の診察と検査 5. 母児の関係確立、新たな家族役割への適応を促す援助 1) 妊娠・分娩・産褥による社会的変化 2) 母親役割獲得及び家族との役割調整 3) 退院後の母児への継続した支援 4) 社会資源の活用や諸制度の説明 6. 自己の母性観・父性観を深める 1) 妊娠期の看護実践 2) 分娩期の看護実践 3) 新生児の看護実践 4) 産褥期の看護実践 5) 母児の関係確立、家族役割適応の看護実践 上記 1)～5) を通して深める *、リスクのある妊産婦褥婦の異常の早期発見、予防、回復のための援助が理解できる。 1) 帝王切開術を受ける産婦・褥婦に対する援助 2) 妊娠糖尿病合併の妊産褥婦の援助 3) 妊娠高血圧症候群の妊産褥婦の援助 4) 切迫早流産の症状・治療に対する援助
1. 妊娠期の看護 1) 対象の理解 (1) 妊娠による母体の変化 (2) 妊婦一般健康診査による母体の生理的変化の把握 (3) 正常からの逸脱または逸脱の可能性 (4) 妊娠経過に影響を及ぼす因子 (5) 母体の変化に応じたケアの現状 (6) 妊娠週数に応じた胎児及び付属物の状態 (7) 妊婦の心理・精神状態 (8) 妊婦の心理・精神状態に影響を及ぼす因子 2) 看護実践 (1) 妊婦の健康診査の見学・介助 (2) 妊婦の心理的な援助 (3) 早期に受診する必要がある症状 (4) 入院が必要な妊婦に対する援助 2. 分娩期の看護 1) 対象の理解 (1) 分娩の三要素と各期の経過 (2) 分娩第 1～3 期の正常な経過 (3) 分娩進行に影響を及ぼす母体・胎児因子 (4) 分娩第 4 期の正常な経過 (5) 胎児及び付属物の状態 (6) 胎児の健康状態に影響を及ぼす母体の健康状態	2) 看護実践 (1) 分娩第 1～3 期の援助 (2) 産婦の心理的援助 (3) 陣痛（産痛）緩和の援助 (4) 子宮内感染防止の援助 (5) 家族への援助 (6) 分娩直後の産婦の援助 (7) 緊急事態の対処 3. 産褥期の看護 1) 対象の理解 (1) 生理的变化に影響する因子 (2) 乳汁分泌経過 (3) 復古現象の経過 (4) 復古現象に影響を与える因子 (5) 褥婦の心理状態 (6) 褥婦の過程・社会環境から退院後の生活の把握 2) 看護実践 (1) 乳汁分泌促進の援助と指導 (2) 乳房・乳頭トラブルの援助 (3) 復古現象を促す援助 (4) 産褥期に起こしやすい感染症の予防への援助 4. 新生児の看護 1) 対象の理解 (1) 出生直後の児の生理的变化 (2) 新生児の胎外生活適応過程 (3) 新生児の栄養状態 (4) 新生児の胎外生活適応過程を阻害する因子 (5) 新生児に起こりやすい感染症の徴候	2) 看護実践 (1) 出生直後の新生児の看護の見学 (2) 出生直後の新生児の受け入れ準備 (3) 新生児の胎外生活適応の援助 (4) 新生児の診察と検査 5. 母児の関係確立、新たな家族役割への適応を促す援助 1) 妊娠・分娩・産褥による社会的変化 2) 母親役割獲得及び家族との役割調整 3) 退院後の母児への継続した支援 4) 社会資源の活用や諸制度の説明 6. 自己の母性観・父性観を深める 1) 妊娠期の看護実践 2) 分娩期の看護実践 3) 新生児の看護実践 4) 産褥期の看護実践 5) 母児の関係確立、家族役割適応の看護実践 上記 1)～5) を通して深める *、リスクのある妊産婦褥婦の異常の早期発見、予防、回復のための援助が理解できる。 1) 帝王切開術を受ける産婦・褥婦に対する援助 2) 妊娠糖尿病合併の妊産褥婦の援助 3) 妊娠高血圧症候群の妊産褥婦の援助 4) 切迫早流産の症状・治療に対する援助				
授業方法	臨地実習	授業場所	浜田医療センター			
評価方法	* 以下の内容を実習評価表（100 点）に沿って評価を行う 患者理解・看護実践・実習態度・出席状況、実習レポート					
備 考	関連科目で用いたテキストを活用する。実習要項で提示された事前学習をする。 関連科目：専門基礎分野、専門分野Ⅰ、母性看護学概論、母性看護援助論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ * 正常な妊産婦褥婦が受け持てない場合					